

平成29年度 庄内川決壊対応タイムライン検討案 (名古屋駅地区の浸水を想定)

- ◆ 本検討案は、年超過確率1/200の降雨に伴い、庄内川左岸が決壊し、名古屋駅周辺が約2m浸水する被災シナリオに基づき作成したものである。
- ◆ 本検討案は、検討途上であるため、主たる項目を記載したものであり、各機関が行う行動を網羅的に整理したものではない。
- ◆ 対応時間は、1つの想定台風シナリオに基づいて、名古屋最接近からの逆算したものであり、実際の台風速度、降雨パターンにより台風毎に変化する可能性がある。
- ◆ 本検討案は、現段階において地域防災計画などの既存の計画を補完するためのチェックリストとして活用するものであり、各機関の行動・タイミングを規定したものではない。
- ◆ 本検討案は、降雨による水位上昇、堤防決壊を想定した時系列にて防災行動を整理したものであり、暴風により行動のタイミングは変化することがある。

何時(いつ)		機関・組織・団体 (だれが)						
現象	目安となる 対応時間	防災行動項目	◎: 行動の中心になると考えられる主体、情報等の発信元と想定される主体 ○: 行動を補助・支援するなど連携が考えられる主体、情報等を直接受信し伝達すると想定される主体 △: 情報を間接的に受け取り、判断や行動に活用する主体					
			庄内川河川事務所	名古屋地方気象台	名古屋市	愛知県	地下施設を有する企業	住民・利用者
平常時		日常の維持管理	◎		◎	◎		
台風が発生した時	-120h以前	台風発生情報の発表と伝達	○	◎	○	○	△	△
台風が北上しつつある時	-120~-72h	台風の進路等の発表と伝達	○	◎	○	○	○	△
台風による日本への影響が予想された時	-72~-48h	日本への影響の可能性等の台風情報の発表と伝達	○	◎	○	○	○	△
		防災施設の巡視・点検	◎	◎	◎	○		
		防災資機材の点検・確認	◎	◎	◎	◎		
台風による影響が名古屋圏で予想された時	-48~-24h	名古屋圏への影響の可能性等の台風情報の発表と伝達	○	◎	○	○	○	△
		人員配置・応援体制の事前確認	◎	◎	◎	◎	◎	
		河川関連施設・危険箇所の巡視・点検	◎	◎	◎	○	◎	
		防災資機材の確認・準備	◎	◎	◎	◎	◎	
		道路の通行規制の事前確認	◎		◎	◎		
		休校・休業に向けた事前準備			◎	○	◎	
台風が名古屋圏に接近し、降雨が予想された時、もしくは雨が降り始めた時	-24~-6h	防災気象情報(大雨注意報)の発表・伝達・収集	○	◎	○	○	○	△
翌日以降に愛知県西部で東海豪雨を超える降雨が予測(600mm/24h以上を目安)されるような状況になった時		大雨注意報発表に伴う防災体制の構築・確認	◎	◎	◎	◎	◎	
		排水施設・危険箇所の巡視・点検	◎		◎	◎	◎	
		地下商業施設の翌日営業中止の検討・判断(地下通路は閉鎖せず)					◎	
		地下施設周辺の状況確認			○		◎	
大雨(浸水害)・洪水警報が発表されるような状況になった時		防災気象情報(大雨(浸水害)・洪水警報)の発表・伝達・収集	○	◎	○	○	○	△
		大雨(浸水害)・洪水警報発表に伴う防災体制の構築・確認	◎	◎	◎	◎	◎	
		地下通路利用者に対する早期退出を促す館内アナウンス等の開始					◎	△
暴風警報が発表されるような状況になった時		防災気象情報(暴風警報)の発表・伝達・収集	○	◎	○	○	○	△
		暴風警報発表に伴う防災体制の構築・確認	◎	◎	◎	◎	◎	
		休校判断			◎		◎	
		住民避難の受け入れに係る準備・事前確認	△	△	◎	△	◎	△
	地下施設の止水対策の検討・実施					◎		
	地下施設営業中止予告情報の伝達・収集					◎		
庄内川の水位が上昇し始めた時	-6~0h	被害情報等の収集・伝達	◎	◎	◎	◎	◎	
		アンダーパス等の道路通行規制の検討	◎		◎	◎		
		地下施設の浸水防止対策の判断					◎	
庄内川の水位が氾濫注意水位を超過しそうな時		庄内川水位上昇に伴う防災情報(氾濫注意情報等)の発表・伝達	◎	◎	○	○	○	
		水防活動等の準備・活動	◎		◎			
		地下街等に対する情報提供(閉鎖等に関する注意喚起(事前予告))			◎		○	△
		地下通路の閉鎖準備の開始					◎	△
避難準備・高齢者等避難開始が発表されるような状況になった時		避難の準備・高齢者等の避難の開始(避難準備・高齢者等避難開始の発表・伝達)	○		◎	○	△	◎
		地下街等に対する情報提供(地下街等退避準備情報(仮称))			◎		○	△
		地下通路閉鎖に向けた利用者の退出誘導等の開始					◎	△
		地下施設における状況確認・伝達					◎	△
大雨特別警報(浸水害)が発表されるような状況になった時		防災気象情報(大雨特別警報(浸水害))の発表・伝達・収集	○	◎	○	○	○	△
		大雨特別警報発表に伴う体制の強化	◎	◎	◎	◎	△	
庄内川の水位が避難判断水位を超過しそうな時		庄内川水位上昇に伴う防災情報(氾濫警戒情報等)の発表・伝達	◎	◎	○	○	○	
避難勧告が発令されるような状況になった時		避難の開始(避難勧告の発令・伝達)	○		◎	○	○	◎
		地下街等に対する情報提供(地下街等退避情報(仮称))			◎		○	△
		地下通路利用者の退出完了確認					◎	
		地下通路閉鎖の開始					◎	△
		庄内川の氾濫の影響がある道路の通行規制の判断	◎		◎	◎		
		地下施設における安全確保措置(完全退避)の判断・開始					◎	
		事後対応(復旧活動等)の準備・確認	◎		◎	○		
庄内川の水位が氾濫危険水位を超過しそうな時		庄内川水位上昇に伴う防災情報(氾濫危険情報等)の発表・伝達	◎	◎	○	○	○	
		地下街等に対する情報提供(地下街等閉鎖情報(仮称))			◎		○	△
		地下施設における安全確保措置(閉鎖・完全退避等)の完了確認					◎	
	想定される浸水域の確認	◎	○	◎	○	◎		
避難指示が発令されるような状況になった時	避難指示(緊急)の発令・伝達	○	○	◎	○	◎	◎	

平成29年度 庄内川決壊対応タイムライン検討案 (名古屋駅地区の浸水を想定)

- ◆ 本検討案は、年超過確率1/200の降雨に伴い、庄内川左岸が決壊し、名古屋駅周辺が約2m浸水する被災シナリオに基づき作成したものである。
- ◆ 本検討案は、検討途上であるため、主たる項目を記載したものであり、各機関が行う行動を網羅的に整理したものではない。
- ◆ 対応時間は、1つの想定台風シナリオに基づいて、名古屋最接近からの逆算したものであり、実際の台風速度、降雨パターンにより台風毎に変化する可能性がある。
- ◆ 本検討案は、現段階において地域防災計画などの既存の計画を補完するためのチェックリストとして活用するものであり、各機関の行動・タイミングを規定したものではない。
- ◆ 本検討案は、降雨による水位上昇、堤防決壊を想定した時系列にて防災行動を整理したものであり、暴風により行動のタイミングは変化することがある。

何時(いつ)				機関・組織・団体 (だれが)					
現象	目安となる 対応時間	防災行動項目							
			<small>◎: 行動の中心になると考えられる主体、情報等の発信元と想定される主体 ○: 行動を補助・支援するなど連携が考えられる主体、情報等を直接受信し伝達すると想定される主体 △: 情報を間接的に受け取り、判断や行動に活用する主体</small>						
			庄内川河川事務所	名古屋地方気象台	名古屋市	愛知県	地下施設を 有する企業	住民・利用者	
庄内川で破堤、氾濫が発生 (台風名古屋最接近)	0h	庄内川水位上昇に伴う防災情報(氾濫発生情報等)の発表・伝達	◎	◎	○	○	○		
		被害状況の確認	◎	○	◎	◎			
		広域支援・連携の要請	◎		◎	◎			
		道路通行止め措置			◎	◎			
破堤、氾濫による浸水域の拡大	0h~	応急・復旧対策の検討	◎		◎	○	◎		
名古屋駅周辺に氾濫水が到達する時		被災状況の確認	◎	○	◎	◎			
浸水が拡大しつつある時		応急・復旧対策の実施	◎		◎	○	◎		
		救出救助活動の実施			◎	◎			
		浸水域の排水対策の実施	◎		◎				
		地下施設の復旧対策の実施					◎		
浸水状況の解消		道路交通対策の実施				◎			
		地域の治安維持活動の実施				◎			
		被災施設等の復旧対策の実施	◎		◎		◎		
		被災者等の支援	◎		◎	◎			
		AAR(アフター・アクション・レビュー)の実施	◎	◎	◎	◎	◎		